

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和5年9月7日（木） 午後6時00分 開議

場 所 宇治市役所602会議室

会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

教 育 長 岸 本 文 子
(教育委員)

教育長職務代理者 加賀爪 毅
委 員 中 筋 斉 子
委 員 小 山 栄 子
委 員 左 聡 一 郎

(出席職員職氏名)

部 長	福 井 康 晴	副 部 長	上 道 貴 志
教育支援センター長	林 口 泰 之	教育総務課長	吉 田 秀 平
学校改革推進課長	吉 川 貴 之	学校改革推進課担当課長	柏 木 三 奈
学校改革推進課担当課長	大 槻 翼	学校改革推進課副課長	平 山 幸 司
学校改革推進課主幹	齊 田 雄 太	善法青少年センター館長	岡 部 勉

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	稲 垣 大 祐	教育総務課主事	西 村 結 衣
-------------	---------	---------	---------

開 会 (午後6時00分)

○開会宣言 教育長が9月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

○**日程第1** 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、小山委員を指名する。

○**日程第2** 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

○**日程第3** 報告

- (1) 文教・福祉常任委員会（令和5年9月4日）について
- (2) (仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業にかかる実施設計について
- (3) 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会の状況について
- (4) 宇治市教育委員会後援事業について

以上4件を報告する。

(1) 文教・福祉常任委員会（令和5年9月4日）について

[説明]

① 宇治東山市営住宅建替えに伴う候補地（善法青少年センター及び善法保育所）について

○渡辺 浩司 委員

- ・保育所と青少年センター敷地が望ましいとされたことに対して、福祉こども部・教育委員会としてはどのような意見をしてきたのか。
- ・工事期間中の保育所移転について。
- ・保護者・利用者への説明について。

○谷上 晴彦 委員

- ・市営住宅の建て替えが必要であると市は認識しているのか。
- ・保育所・青少年センターを建て替えるということであれば、宇治市のアセット、公共施設等総合管理計画との整合性はどうか。
- ・建て替え後、各施設の機能については維持されるのか。保育所の定員は見直すのか。
- ・建て替える東山市営住宅の戸数は増やすのか。

○真田 敦史 委員

- ・候補地として決定する時期について。
- ・地元への丁寧な説明、今後のスケジュールも含めて、丁寧な対応が必要である。

○西川 美代子 委員

- ・建替推進委員の構成メンバーについて。

○宮本 繁夫 委員

- ・善法・東山地区まちづくり推進検討委員会は市の組織か。
- ・宇治市の公立保育所・西小倉保育所も老朽化しているが、そちらの整備の考え方について。西小倉保育所には駐車場がないが、他に駐車場のない公立保育所はどこか。
- ・資料では地元の要望により本事業を検討しているとなっているが、要望だけで市の意思決定はしていないのか。

② (仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業について

○渡辺 浩司 委員

- ・体育館への空調設置については、可能な限り検討を進めてほしい。
- ・工事についての懸念材料があれば教えていただきたい。

○谷上 晴彦 委員

- ・体育館空調や現在予定している断熱の効果について。
- ・体育館での暑さ対策は十分なのか。
- ・東京都板橋区の事例をもとに、市長記者会見では、全体として予算に含みを持たせた発表があったが、教育委員会はどのように考えているのか。
- ・9学年そろっての開校についてどのように考えているのか。
- ・第2グラウンドについて、市長が記者発表で最初からいらないと伝えているが、教育委員会はどのように考えているのか。
- ・給食配送車の安全対策として、昇降口前を通るのは危ないのではないか。
- ・コモンズの空調やガラス張りで直射日光の暑さ対策は大丈夫か。

○西川 美代子 委員

- ・体育館で使用するスポットクーラーや冷風機ほどのくらいの台数で、予算はどのくらいか。
- ・現在学校で使用、所有している台数について。

○宮本 繁夫 委員

- ・前回の常任委員会で他市体育館の暑さの数値を調査するということがあったが、なぜ報告をしないのか。
- ・他の調査をした体育館の暑さの調査結果等について。
- ・ルーバーの設置箇所について。
- ・3つの小学校の現在の特別支援学級の人数について。
- ・特別支援学級の人数に対する教室の数について。
- ・特別支援学級の教室の数については見直すべきではないか。
- ・現在の南小倉小学校の通級指導教室について。
- ・給食センターでの給食について、アレルギーの観点から、小学校と中学校の考え方について。

- ・工事期間中の部活動の対応・対策について。

○真田 敦史 委員

- ・体育館空調についての考え方について。
- ・3小学校の跡地活用については、新しい小中一貫校の開校・教育環境の確保を最優先として、その後どうしていくかというのを考えていただきたい。
- ・市教委の熱量をもっと出すべきである。

(2) (仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業にかかる実施設計について

[説明]

(仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業にかかる建築模型については、この整備事業にかかる設計業務の成果品として納品があったものである。縮尺は250分の1となっている。建築模型は、今後も市民の皆様に見ていただく機会を作っていきたいと考えており、まず明日9月8日の19時から、西小倉地域小中一貫校整備検討委員会で報告させていただく予定である。また、来週以降も地域の3つの小学校(西小倉小、北小倉小、南小倉小)と西小倉中学校でも巡回し、展示の期間を設けて、子どもたちや、その間の行事等で保護者や地域の方にも見ていただく場をたくさん作っていきたい。また、イベント時にも活用することも考えている。何より、広く市民の皆様には建築模型を見ていただくことで、本事業に対してよりわかりやすいイメージを持っていただき、整備事業についての説明をしていきたいと考えている。

今後のスケジュールについては、12月議会で建築工事等における契約議案を提案し、翌年1月には本契約を締結し、その後工事説明、工事に着手し、令和8年4月の開校を目指して進めていく。

[質疑] なし

(3) 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会の状況について

[説明]

本日、令和5年度第2回宇治市乳幼児教育・保育推進協議会を開催したので、その協議事項等について報告する。まず、「1 協議事項」として、第2回の推進協議会では、(1)保幼小連携専門部会及び発達・子育て支援専門部会からの報告事項に対する検討並びに(2)乳幼児期の教育・保育の基本理念の検討の2点について協議を行った。次に「2 内容」であるが、1(1)については、保幼小連携専門部会及び発達・子育て支援専門部会の部会長から、それぞれ専門部会の開催内容について報告を行った。資料の1ページ、保幼小連携専門部会の報告書であるが、報告書の下半分にある「部会検討まとめ」をご覧ください。保幼小連携専門部会では、「保幼小連携の取組推進について」に関し「連携園が決まっていると取組を進めやすい」という意見や、「連携事業の実施について」に関し「各施設や小学校とも人員体制は厳しい状況にあり、お互いに過度な負担とならない持続可能な連携手法や実施内容について検討して

いく必要がある」という意見などが出されている。6ページでは、発達・子育て支援専門部会についても報告が行われ、「保護者支援について」の意見や「就学前施設と療育施設間の連携について」の意見が出されている。9ページでは、宇治市乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会より示された5つの観点を踏まえ、子どもを育む大きな視点として、市民が共感し、共有できるものとなるよう、乳幼児期の教育・保育の基本理念の内容について検討を行った。続いて、「3 今後のスケジュールについて」である。第3回の専門部会は10月の開催、第3回の推進協議会は12月の開催を予定している。

[質 疑]

[委 員] 保護者支援の窓口を作っていたきたい。教職員や保育園、幼稚園の職員に対する研修ももちろん大事だが、今誰が一番困っているかと言えば、保護者とそのお子さんで、何とかしてあげなくてははいけないと思う。その解決できる窓口があってほしい。

[事務局] 保護者とお子さんが本当に悩んでおられることは十分承知しており、(仮称)宇治市乳幼児教育・保育支援センターでもできるだけ広くやっていきたいが、センターとしては、保護者に直接支援をするというところに行き着くまでの間は、まずは先生方に研修を受けていただき間接的な支援をし、その後でさまざまな要望等、いろいろと広げていくことは可能かと考えている。これから未開のところを歩いていくので、貴重な意見をいただいて、それを検討の材料にさせていただきたい。

[委 員] 職員研修だけであれば、このセンターでなくてもやっており、宇治市の子どもたち、保護者をサポートしてほしいという強い思いがある。ここでしなくてははいけないという位置づけとして、宇治市の子どもと保護者のためにこんなことやっている、という方がインパクトがあるので、ぜひ進めていただきたい。実際、宇治支援学校ではやっておられるが、なかなか親御さんがそこにアクセスするのが学校経由とかいろいろ要件があって大変であり、もう少しアクセスしやすくして支援につながる場所があってほしい。教職員研修でレベルを上げることも大事だが、今の教職員はある程度大学で学んできており、また現場を踏まえて先生方が経験値を上げておられる中で、困ったケースの対応をどうすればよいかという相談が増えている。みんなのレベルを上げるというより、難しいケースをどう対応するのかという視点を入れてほしい。

(4) 宇治市教育委員会後援事業について

[説 明]

家庭倫理の会宇治市主催の「子育てセミナー」について後援した。

[質 疑] なし

○**閉会宣言** 教育長が9月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時29分)